

第2回小さな自然再生サミット 2025 京都大会

自然環境グループ 主任研究員 白尾 豪宏
客員研究員 和田 彰

1. はじめに

当研究所では、身近な水辺をフィールドに、多様な主体が発案・協働し、楽しみながら手づくりで自然再生を進める「小さな自然再生」の社会実装を目指して、取組の普及や担い手育成を目的とした現地研修会等を約10年にわたり開催してきました。このたび、活動団体の情報発信や連携促進を目的として、令和7年12月に約7年ぶりとなる全国会議「第2回小さな自然再生サミット2025 京都大会」を開催しましたので報告します。

2. サミット実行委員会

本サミットは、これまで小さな自然再生の取組を牽引してきた有識者や、全国への普及促進をさまざまな形で支援してきた専門家を中心に、有志による実行委員会を組織して運営しました。

表－1 小さな自然再生サミット実行委員会

■実行委員長：

中村 太士（北海道大学大学院農学研究院 名誉教授）

■実行委員

（五十音順）

氏 名	所 属
今井 洋太	神戸市立工業高等専門学校
伊豫岡 宏樹	九州産業大学建築都市工学部
佐藤 祐一	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
杉野 伸義	KANSOテクノス
瀧 健太郎	滋賀県立大学環境科学部湖沼流域管理研究センター
竹内 えり子	建設技術研究所
武田 みゆき	日本環境NPOネットワーク
田原 大輔	福井県立大学海洋生物資源学部
林 博徳	九州大学工学研究院環境社会部門
原田 守啓	岐阜大学 高等研究院環境社会共生体研究センター
町田 善康	美幌博物館
三橋 弘宗	兵庫県立人と自然の博物館
山下 慎吾	環境省自然環境局生物多様性センター

3. サミットの概要

サミットは、12月7日（日）10:00～17:00に、京都大学宇治キャンパス「宇治おうばくプラザ」にて開催しました。概要は以下のとおりです。

表－2 サミット2025 京都大会の概要

主 催	小さな自然再生サミット実行委員会
後 援	国土交通省、環境省、 公益財団法人リバーフロント研究所
協賛団体	14社
事例発表	30団体
参加者	約200名
参加費	無料

プログラム	10:00	サミット開会、来賓挨拶
	10:15-12:40	全国事例発表
	12:40-13:40	昼食／発表者ポスター交流
	13:40-16:00	パネルディスカッション ～次の一手を考える～
	16:10-17:00	茶話会

午前の部では、小さな自然再生の担い手による事例発表を行いました。発表団体は、北海道から九州まで全国から応募のあった30団体で、「①自慢したいこと・強み」、「②知りたいこと、悩みごと・困りごと」、「③今後コラボしたい“こと”や“ひと”」について、各団体4分で発表していただきました。

昼食会場では、各団体によるポスター展示を行い、団体同士が困りごとの解決方法や活動の工夫について情報交換する交流の場となりました。

午後の部では、「小さな自然再生の次の一手を考える」を主テーマに、前半は「技術」、後半は「進め方」に焦点を当てて議論しました。最初の一步の踏み出し方、活動継続上の壁、活動の目標や出口に関する経験を共有し、次の一手につながるヒントを全国の取組事例から学び合うことができました。



図－1 事例発表、ポスター交流

4. おわりに

本サミットは、有志の実行委員の皆様、全国より集まった事例発表団体や参加者の方々、そして協賛、後援いただいた企業・団体の関係者の皆様の多大なるご支援のおかげで開催することができました。ここに、厚く御礼申し上げます。

なお、本サミットの準備プロセスから開催報告までの詳細情報は、以下のウェブページに掲載しています。

<https://www.rfc.or.jp/collaboriversummit2025.html>



図－2 開催報告